

## 高木 清隆 議員

### 農産物の販路拡大に向けた取り組みをすべきでは

**Q** 問 農産物の販売促進に向けた販売戦略に対し、行政サイドの積極的な介入が必要と考えるがどうか。

**A** 答 特産品の販売戦略については、各振興協議会や袋井市農業振興会の取り組みに対し支援していきたい。また、産学官連携による袋井市産業イノベーション事業も積極的に活用できたらと考えている。

**Q** 問 近年のアグリニクスの動向を行政としてどうとらえているのか。

**A** 答 アグリビジネスは、企業的な経営感覚を必要とし、効率的な農業経営や規模の拡大において生産以外の総合的かつ先進的な経営がより重要になると認識している。

### 子育て世代の負担軽減、親世代の高齢化に伴う生活不安の解消を

**Q** 問 親元近居支援制度の創設を提案するがどうか。

**A** 答 親元近くへの居住支援は安心して生活できる環境整備につながる。今後、国が全国展開しようとしている高齢者の住みかえ支援制度にあわせ研究し、実行できるものは実行していきたいと考えている。



クラウンメロン支所の出荷の様子

## 大場 正昭 議員

### 市民の声から

**Q** 問 (仮称)市営墓地公園整備事業の今後のスケジュールと課題、問題点は何か。

**A** 答 市営墓地の実現に向けては、地域の受け入れが一番大きな問題となる。最終的な整備の完了は、23年度を目途に最大限の努力をしていきたいと考えている。

**Q** 問 自主運行バスの三川地区幕ヶ谷地域への乗り入れを要望するがどうか。

**A** 答 客観的で詳細な交通地域の需要把握と自主運行バスの現状認識等を目的として、本年8月に「交通実態調査」アンケートを行い、現在分析している。今後、このアンケート結果等を参考に、自主運行バスのあり方について抜本的に検討した上で結論を出したいと考えている。

**Q** 問 先生方の負担軽減のため、中学校部活動への専門的な指導者の派遣、外部コーチの招聘(しょうへい)について、拡大・充実を望むがどうか。

**A** 答 指導に当たる方々の労苦に報いるだけの条件整備も十分に考慮する必要がある。こうした課題の解決方法を探りつつも、今後も各学校の必要度を的確に把握した上で、すぐれた指導者の人材発掘に努めていきたいと考えている。



周南中学校吹奏楽部の活動の様子